

小樽商大の4年生3人が、市内の祝津エリアを自転車で巡るサイクリングマップを作成した。坂の街といわれる小樽だが、市内中心部から祝津にかけては比較的平坦で自転車で観光が楽しめる。3人は「これからはサイクリングにぴったりの季節なので、観光客はもちろん、市民の皆さんにも活用してもらいたい」と話している。

(渡辺佐保子)

# 自転車祝津巡ろう

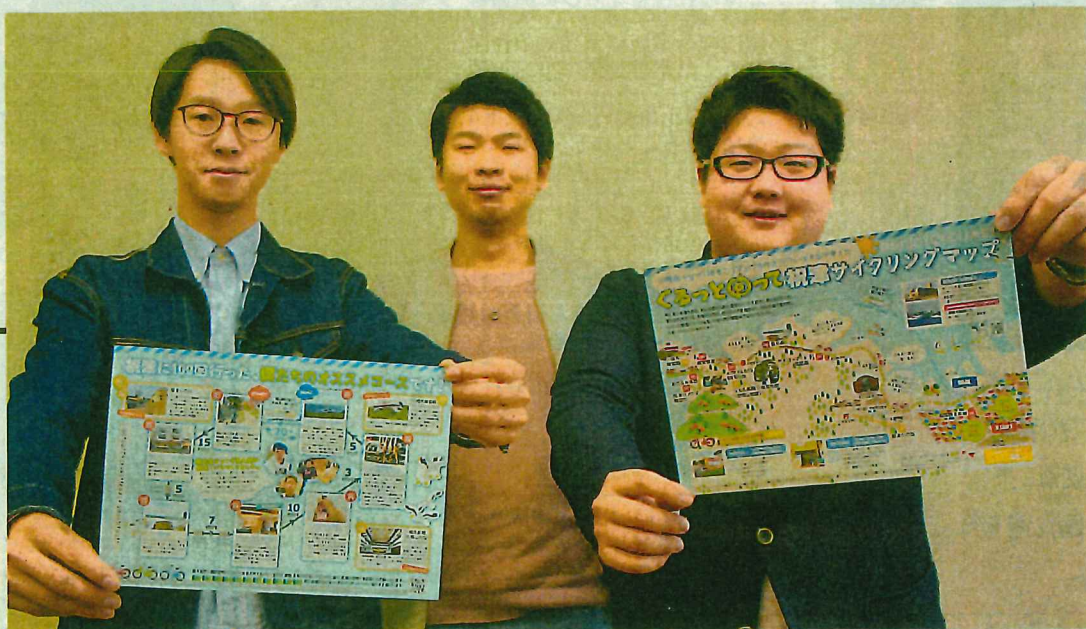
## 樽商大生3人がマップ

作成したのは丹野翔太さん(22)、赤松普生さん(21)、長尾康平さん(22)。3人は3年次に、同大が地域連携教育の一環で行っている「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ)」を履修して、地図作りに取り組んだ。

昨年7月に着手し、祝津に100回ほど足を運んで今年3月末に完成させた。有名なおたる水族館以外の魅力も発信したいとの思いがあったという。JR小樽駅を起点として海沿いの景色を眺めながら祝津に行き、ガラス工房や小樽市練御殿、祝津パノラマ展望台などを巡って、自転車も載せられる観光船「あおぼ」として市中心部まで戻るコースを提案している。

3人は「市中心部から祝津までは約6キロあり、途中はトンネルもある。往復が自転車だとハードだが、観光船を使えば海上からの景色も楽しめ、気軽にに行ける」と話す。A4判で表面はコースを示したマップ、裏面は見どころ解説となっている。9千枚作り、JR小樽駅や小樽運河プラザ、宿泊施設などに設置してある。

## 観光船も利用 コース提案



小樽商大の4年生3人が作成したサイクリングマップ